

ジェンダー意識をアップデート！

2022年12月、横浜市立中川小学校を訪問し、小学生の目線でとらえたジェンダーもやもや（ジェンダーバイアスを感じる場面）について意見を出し合いました。大人が意識をアップデートする機会としてこのブックリストをぜひご活用ください。

マンガからも学べます！



解消のヒント



女の子といえばピンク色という思い込みはいつどのように生まれたのか？素朴な疑問に様々な角度から考える1冊。

小学生の感じたジェンダーもやもや

水泳を習っていたのですが、青とピンクのビート板がありました。私は青が好きだったので、青のビート板を使ったら、「女の子だからピンクじゃないの？」と言われた。

小学生の感じたジェンダーもやもや

親から「男の子はスポーツ」「女の子は文学」と言われた。私だってスポーツがしたいと思ってしまった。弟は喜んでサッカーをしたが、私はスムーズに運動の習い事ができなかった。

解消のヒント

小学生が家庭内で感じた壁は、世界の女性アスリートが直面した社会の固定観念に共通するものがあるかもしれません。



解消のヒント



ドッジボールを思いきり楽しみたいこと、当たるのが怖いこと。どんな好きも弱さも尊重されるべき感性だと気づける1冊です。

小学生の感じたジェンダーもやもや

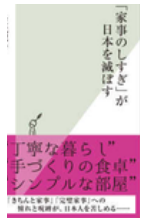
男＝強い 女＝弱い というイメージがある。男は強いからドッジボールで女子に当てるなどと言われる。

小学生の感じたジェンダーもやもや

女がだいたい朝・昼・夜のご飯を作ることが多い。

解消のヒント

性別役割分担が残る日本。しかし主語が「男」になっても大変なのは同じ。家事との付き合い方を提案する一冊です。



解消のヒント



小学生がもやもやを受け取ることもあれば誰かに与えることだってある。ジェンダーの授業の復習にぴったりな一冊。

小学生の感じたジェンダーもやもや

弟がピンクが好きだったけど、友達に「ピンクださくない？」といわれて青が好きと言うようになった。